

平成30年度 部局長マネジメント方針

消防局長 ひぐち みねお
樋口 峰夫



私の決意

本年度は、消防局長に就任して3年目の年度となります。

私は、就任当初から一貫して、消防が目指すべき目標である「市民生活の安全確保」を達成するため、日々邁進してまいりました。また、職員一人ひとりに対しても、この目標を達成するためには、プロ意識と問題意識、そして、それぞれの立場における創意工夫の意識を持ちつつ、当たり前のことを誰にも真似できないほど一所懸命やることが肝要であることを繰り返し説いてまいりました。

改めて、この姿勢こそが消防職員としてあるべき姿であり、市民の皆様から絶対的な信頼を得るためにも非常に重要なことであると確信しております。

さて、災害は、いつ、どこで、どの様な形で発生するか予測が困難であり、日本各地で想定外の被害が多数発生しております。

昨年度の本市におきましては、生駒山中で6年ぶりとなる林野火災が発生し、駅前の飲食店舗密集地域では複数棟への延焼火災などが発生いたしました。幸いにも被害を最小限に食い止めることができました。また、救急需要におきましては、高齢化の進展等により、全国的に救急件数は増加傾向にあり、本市でも例外ではありません。これら救急需要の増加に対応するため、平成31年度中の救急隊増隊を目指すとともに、より適切な救急救命体制の整備を加速させてまいります。

このような状況を踏まえ、今後とも時流に応じた消防力の適正配置を行い、保有する消防力を十分に活用して、消防の職務を遂行してまいります。

いよいよ翌年には、本市の一大イベントであるラグビーワールドカップ2019日本大会が花園で開催されます。東大阪市民はもちろん、本市を訪れる全ての皆様の負託にも応えるべく、万全な警防体制で臨んでまいります。

結びに、消防職員がプロ意識をしっかりと持ち、凡事徹底を怠らず、市民の皆様から信頼される力強い消防組織を構築するとともに、地域防災の担い手であります消防団員と一致団結して職務に邁進することをお誓い申し上げ、私の決意といたします。